超精密研削加工技術から生まれる、
世界最高水準の打抜き品質と
生産性を提供します。

2011年 超モノづくり部品大賞 機械部品賞 受賞

当社「金型」「治具」導入3つのメリット
1 バリ・コンタミ極少な綺麗な打抜き断面
2 長寿命・省メンテナンスによる生産性向上
3 切削・エッチングから打抜きへの置換え

《リチウムイオン電池 電極材 打抜き状態の比較》
他社金型使用
弊社金型使用

株式会社 野上技研
NOGAMI 茨城県常陸大宮市泉1136-3
無償サービス ●打抜き治具貸し出し ●テストカット
エコアクション21 認証・登録番号 0006747
明日の日本を支える 元気なモノ作り中小企業300社 経済産業省 2009年選定企業
まずは、ご相談ください!! ●☎0295-53-2109 ●✉sng@nogami-gk.co.jp ●http://www.nogami-gk.co.jp/

ネプコン ジャパン 2012

第13回プリント配線板EXPO

PWB EXPO

最先端の技術動向

「第13回プリント配線板EXPO―PWB EXPO」は、あらゆるプリント配線板から配線板用材料、電子基板設計ツール、設計・開発受託サービスまでが一堂に集まる専門展示会。会場は東展示棟1ホール。

プリント配線板の課題はナノテクノロジーを活用した次世代回路基板技術の確立、実用化に向けた部品内蔵配線板技術の動向、環境配慮への取り組み、小型・薄型化を実現させる低コスト化技術―など多岐にわたる。

同展の主な出展内容は、①プリント配線板―リジッドプリント配線板や多層プリント配線板に加え限られた空間での3次元配線や屈曲部の配線に優れている点からなどデジタル機器への用途が拡大しているフレキシブルプリント配線板（FPC）、部品内蔵配線板など②配線板用材料―リジッド銅張り積層板、フレキシブル銅張り積層板など―で構成される。

特設ゾーンとして、機能設計・理論設計支援ツールから解析・シミュレーションツール、CAD／CAMを含めた「設計・開発ツールゾーン」とエレクトロニクスの設計・開発・試作などに関する「設計・開発受託ゾーン」が設置される。

併催企画の専門技術セミナーは、毎回業界関係者や来場者から注目を集めている。基調講演は「今が旬の2大テーマについて、トップメーカーが戦略と展望を語る」をテーマに、下辻成佳東芝クラウド&ソリューション事業統括部長による「最先端モバイルデータ機器の進化」など二つの講演が行われる。開催日時は19日13時半から。

一般セミナーでは「カーエレからスマホまで注目度No.1 実用化寸前の高熱伝導樹脂基板」「LED照明の放熱設計と材料の最新技術動向」「世界で普及する部品内蔵技術」―など計10セッションで最新動向が発信される。最先端のプリント配線板技術動向を探る絶好の機会といえそうだ。

第3回先端電子材料EXPO

小型・高機能化に対応

「第3回先端電子材料EXPO―マテリアルジャパン」は、あらゆる電子材料、加工材料技術、合成委託企業が一堂に集結する。エレクトロニクス分野における急速な技術進歩で、電子材料が果たす役割はますます高まっている。会場は東展示棟1ホール。

エレクトロニクス製品は年々小型・高機能化が進み、熱・ノイズ対策など課題解決に向けた技術相談やサンプル依頼、材料合成委託といった商談ができる研究開発者向けの専門展示会ニーズが強まっている。

同展の主な出展製品は、電子材料では①実装回路材料―ポリイミドフィルム、液晶ポリマーフィルム、導電性ポリマーなど②プリンテッドエレクトロニクス材料―金属ナノ粒子／ペースト、導電性材料など③記録媒体材料―ベースフィルム、樹脂、コーティング剤など④半導体材料―封止材やフォトレジスト、多結晶シリコンなど⑤ディスプレー材料⑥電池材料―が展示される。

会場には特設ゾーンとして、「加工・分析装置ゾーン」「分析・試験・測定ゾーン」のほか、今回新たに「受託合成ゾーン」「電子材料ゾーン」が設けられる。

第2回精密微細加工技術EXPO

開発・製造で重要性増す

近年、エレクトロニクス開発・製造において精密・微細加工技術が重要性を増している。こうした状況を背景に、エレクトロニクス業界向けの「第2回精密微細加工技術EXPO―マイクロテックジャパン」が開催される。板金、切削、プレス、エッチング、表面処理、難素材加工技術など精密・微細加工技術を持った企業が一堂に集結する。会場は東展示棟1ホール。

同展の主な出展内容はプレス加工、切削加工、穴あけ加工、精密・微細板金技術、微細接合技術、精密鋳造技術、金型・電鋳技術、エッチング技術、コーティング技術、研磨・鏡面加工、バリ取り技術、表面処理／メッキ、難削材加工、熱処理などの技術が展示・実演される。

同展をはじめとする「ネプコンジャパン」7展と、「オートモーティブワールド」「ライティングジャパン」が同時開催されることから、来場者はエレクトロニクス製造・実装・検査から、エレクトロニクス製品・技術の応用までの多岐にわたる最新動向を知ることができる。専門技術セミナーの詳細や出展企業一覧、入場登録は同展の総合サイト（www.nepcon.jp）へ。

有力企業の製品・技術

＜順不同＞

インターネプコン ジャパン

アズワン

アズワンは幅広い商品を取りそろえた理化学機器の専門商社。インターネプコンでは独自のASPURE（アズピュア）商品を中心に出展する。

ASPUREとは〝クリーン環境を必要とするすべての方のために〟をコンセプトとした同社が展開するクリーン・静電気対策品のオリジナルブランド。2011年7月に発刊した「アズピュアセレクションカタログ」では、クリーン環境よりも広範な5S対策商品群を先頭に掲載するなど、多くのユーザーが興味を引く内容となっている。

カタログに掲載された一部商品については、無償サンプルの対応が可能なため、検討段階で評価を行いやすい。また、ASPURE商品を使用する現場での導入事例も掲載し、商品の使用方法などがイメージしやすい工夫も行っている。

精密微細加工技術EXPO

野上技研

野上技研は、第2回精密微細加工技術EXPOゾーン（ブース番号―東21―23）に出展する。創業以来培ってきた超精密研削加工（平行・直角精度1万分の5㍉㍍）技術を生かした「超精密 打抜き金型・治具」を各種展示する。

打抜き時のトラブル（バリ・変形・異物）を抑えるだけでなく、長寿命により大幅なランニングコストの低減に貢献する。また、これまで困難であったガラスエポキシ基板の打抜き加工の研究開発成果を発表する。

会期中は開発担当者が常駐し、試作から量産まで課題解決の提案を行う。同社ブースでは「テスト抜き」も行うことが可能なため、来場者は対象となる製品サンプルなどを持参すれば対応してもらえる。

大塚精工

積極的かつ貪欲に挑む―。大塚精工はナノレベルの精度が求められる製品・生産分野で「妥協」することなく挑戦・進化を続けている。展示会では各種金属、セラミックスの超精密加工部品などを出展する。

同社はデジタル家電関連、医療、航空宇宙、成長著しい環境・エネルギーなど業界を問わず「超精密加工」が求められる分野で実績を積み重ねてきた。品質向上・コスト削減・納期短縮など顧客が抱える課題を把握し、製販一体となった最適な提案をモットーとしている。また、独自の生産管理システムとネットワーク、豊富な設備で顧客の多様なニーズに素早く対応。「心」と「技」の向上を怠ることなく、日本のモノづくりが世界トップクラスで居続けるために、次代を見据えて挑み続けている。

プリント配線板EXPO

太洋工業

太洋工業はフレキシブルプリント基板の設計、製作から加工、部品実装、モジュール化や組み立てにおいて短納期少量試作品から量産品まで対応可能な「FPCワンストップ・サービス」を紹介する。開発設計、短納期試作から量産へスムーズな移行ができ、部品調達や実装、組み立てまでを仕様や数量ごとにベストな納期、価格、品質の提供が可能となる。

また、小文字印字対応産業用インクジェットプリンターやシートフィルム表面検査システム、非接触膜圧測定機をはじめ、検査測定機を中心に開発、製造、品質管理の現場で役立つ装置を多数展示する。

インターネプコン ジャパン内の中小企業基盤整備機構「Future Japanゾーン」でも各種装置を展示する。

富士プリント工業

富士プリント工業は電子回路基板の設計から実装までの一貫製造を中心に、医療・情報セキュリティー・産業機器など開発から製造をサポート。多品種小ロットの試作品を短納期で対応する。昨年7月に大阪営業所を開設、関西エリアでの営業も強化している。

展示会ではビルドアップ基板やハイパワーLED搭載基板として耐熱性・放熱性に優れたアルミ基板を中心に、DDR2・DDR3など高難度基板の設計・実装技術を紹介する。

また、昨年から本格稼働した四会富士電子（広州）による海外生産では片面・両面基板や多層基板（4―20層）、FPC、アルミ基板、電子回路基板の中小ロットの試作から量産に対応。ガーバーデータのチェックを全て日本で行うことで、品質面での信頼性を確保する。

第4回国際カーエレクトロニクス技術展
第3回EV・HEV駆動システム技術展
第2回クルマの軽量化技術展

いよいよ開幕

リードエグジビションジャパンが主催する「オートモーティブワールド2012」がきょうから20日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東館で開催される。同展は「第4回国際カーエレクトロニクス技術展（カーエレJAPAN）」と「第3回EV・HEV駆動システム技術展（EV JAPAN）」、そして「第2回クルマの軽量化技術展」によって構成される自動車・自動車部品、生産技術の専門展示会。開場時間は10時から18時まで（20日は17時まで）。

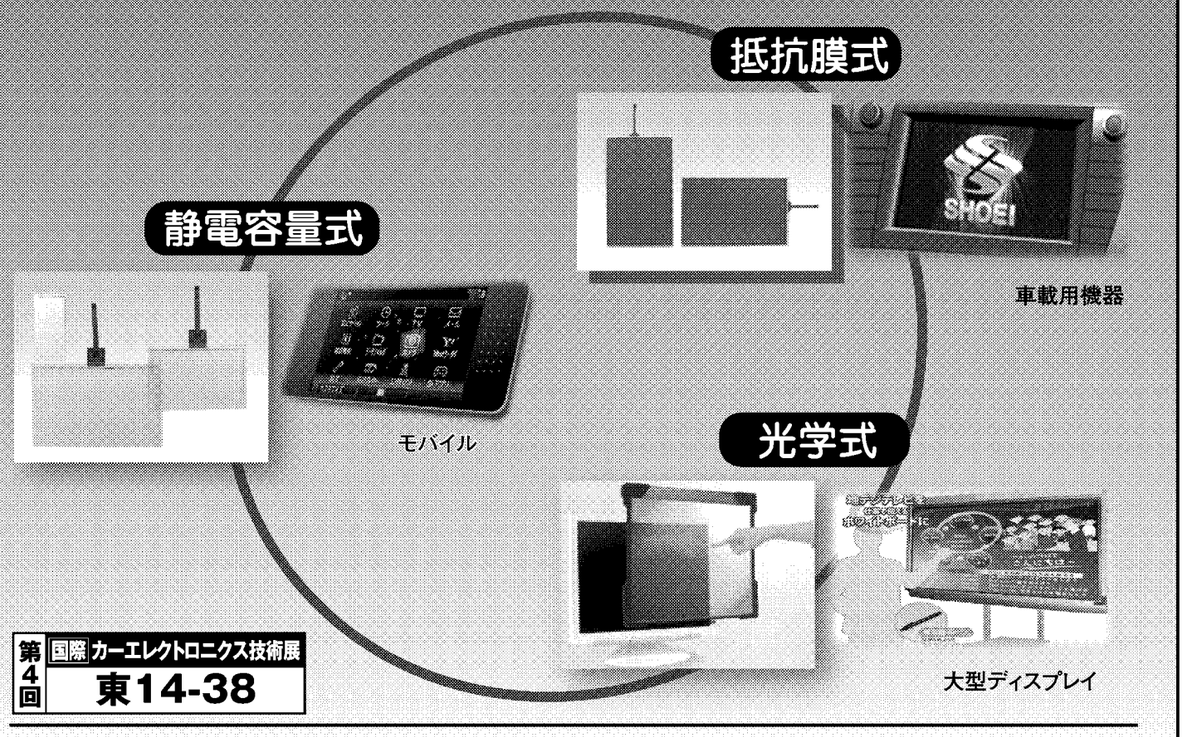
国際カーエレクトロニクス技術展

「国際カーエレクトロニクス技術展（カーエレJAPAN）」はカーエレクトロニクス技術に関するあらゆる部品・材料、ソフトウエア、製造装置、テスティング技術が一堂に出展する日本唯一の専門展。

同展は「自動車部品・車載システムゾーン」「半導体・電子部品・デバイスゾーン」「組込みシステム技術ゾーン」「テスティングゾーン」「製造・検査装置／技術ゾーン」「電子材料ゾーン」と、六つのゾーンが設置される。

「自動車部品・車載システムゾーン」にはエンジンやシャシー制御システム、車載ネットワーク、通信関連の製品・ソリューションなどが出展対象。「半導体・電子部品・デバイスゾーン」ではIC／LSI、キャパシター／コンデンサー、車載プリント基板、センサー、コネクター／ケーブル／ハーネス、通信、ディスプレーモジュール、さらにはデバイス向けの微細加工技術などがカバーされる。

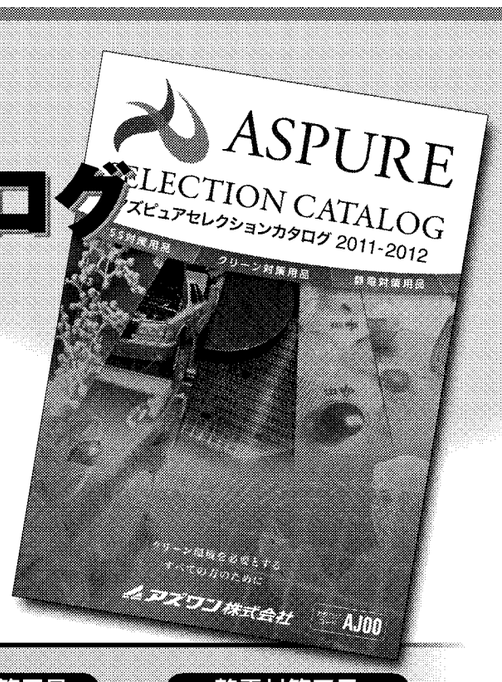
タッチパネルの総合メーカーを目指す!
私たち翔栄は「テクノロジーは未来を変える力がある」
そう信じて、常に2年先のスタンダードを今に提供することを心掛けております。



第4回 国際カーエレクトロニクス技術展 東14-38

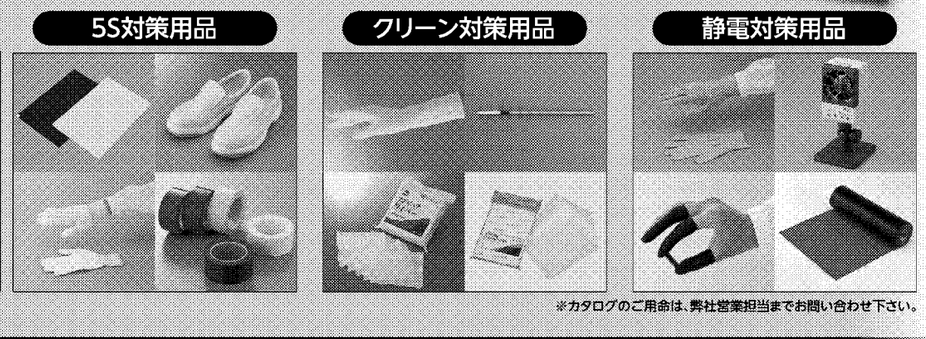
SHOEI 株式会社 翔栄
本社・さんわ工場 〒372-0011 群馬県伊勢崎市三和町2718番地3 Tel 0270-20-1110
営業部 〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目1番地5 麹町志村ビル8F Tel 03-3222-7580
URL http://www.shoei-t.co.jp

アズピュア
セレクションカタログ
2011-2012
クリーン環境を必要とする
すべてのユーザー様のために



クリーン環境のための商品200アイテムを
掲載しております。
ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

掲載商品群の一例



※カタログのご用命は、弊社営業担当までお問い合わせ下さい。

AS ONE アズワン株式会社
大阪／〒550-8527 大阪市西区江戸堀2-1-27 TEL.06-6447-8601 FAX.06-6447-8651
東京／〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-12-4 TEL.03-3249-3815 FAX.03-3249-3825
http://www.as-1.co.jp